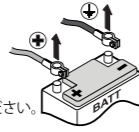
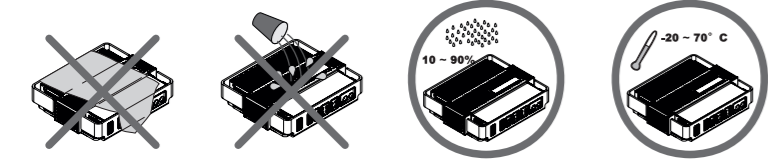


**警告**  
 12ボルト車にのみ使用のこと。  
 作業前にターミナルを外してから作業を行って下さい。  
 現在の負荷、ケーブルの長さに合ったパワーケーブルとゲージを使用して下さい。  
 当マニュアルの表は安全使用できる最小ゲージを示しています。  
 可能な限り利用可能な最大のゲージを使用して下さい。



当機器はDC12V(-)アース車専用ですので大型トラック、バス、ディーゼル車などの24V車では使用しないでください。火災の原因となります。



問題が発生したらすぐに使用中止してください  
 順守しない場合、ケガや製品の故障につながる可能性があります。  
 修理は認可されたMOSCONIディーラーまでご連絡ください。

**製品の修正や改造を行わないでください**  
 事故や火災、感電を引き起こす可能性があります。  
 製品の修正や改造を行うと、明示・黙示どちらの保証も無効になります。

**製品の取り付けや接続は専門家が行ってください**  
 取り付けや接続には専門の知識や経験が必要です。  
 安全のため、正しい取り付けには必ず認可された専門店へ連絡してください。

**極端に湿度の高い場所や埃のある場所での取り付けはしないでください**  
 過度の湿気や埃のある場所での取り付けは避けてください。製品内に湿気や埃が入ると製品の故障につながります。

**表面が感熱しやすい場所での取り付けはしないでください**  
 アンプが80℃を超える温度に達したり、感熱した表面にすれたりすると火災の原因や、表面の損傷を引き起こすことがあります。

**ドリルで穴を開ける際、チューブやケーブルを傷つけないでください**  
 取り付けのためドリルでの穴あけを行う際は、チューブ、燃料パイプ、燃料タンク、電気ケーブルを傷つけないように、触れたりしないよう細心の注意を払ってください。これらの事前注意を怠ると、火事や故障を引き起こします。

**通気口やヒートシンクパネルをふさがないでください**  
 通気口やヒートシンクパネルをふさぐと、アンプの内部温度の上昇を招き、火災の危険に繋がります。

**この製品は12V車にのみ使用してください**  
 12V車以外に使用すると火災や感電、その他の事故を引き起こします。

**製品を取り付ける前に、バッテリーのマイナスターミナルを外してください**  
 ショートにより感電や故障、ケガをすることがあります。

火災の危険や製品の故障を防ぐため、適正基準を満たしたケーブルを使用し、接続の両極性に十分注意したうえで、適正な接続を行ってください。

**ケーブルが車の部品に絡まないようにしてください**  
 取付説明書に従い車両運用を妨げることがないよう、正しく接続してください。  
 ステアリング部品、ギアレバー、ブレーキペダルに絡むと危険です。

**ケーブルが先の鋭利な金属により曲げられたり、圧縮されたりしないよう正しく配置してください**  
 シートレールのような可動部品や製品内部の金属で角ばった鋭利な部分、先のとがった部品に、ケーブルが直接触れないように配置してください。  
 金属部に穴を通す場合はゴムスペーサー等を使用し、奥の部品を先の尖ったもので損傷させないようお気を付けてください。

**アース接続を行う際は、ステアリングやブレーキシステムに属するボルトは使用しないでください**  
 アース接続を行う際は、ステアリング、ブレーキシステムそのほかの安全装置、燃料タンク等の固定用ボルトを決して使用しないでください。  
 これらの固定用ボルトを使用すると、車両制御不能や事故、火災そのほかの損傷を引き起こすことがあります。  
 ヒューズに関しては定格アンペアを使用してください。  
 基準値以外のヒューズを装着した場合火災や感電が起きる可能性があります。

**正しい付属部品を使用し、取付説明書に従ってください**  
 必ず指定の付属部品を使用して下さい。  
 他の部品を使用すると、製品を損傷させたり、不適切な取り付けの結果を招き、安全に取り付けられない場合、誤作動や危険を引き起こします。

**運転の注意をそらすことにならないよう製品の操作はしないでください**  
 継続的な注意が必要な操作を行う時は、車を完全に停止してください。  
 操作を行うときは安全な場所に停めてください。事故につながる可能性があります。

**運転中は車外の音が聞こえる程度の音量ボリュームを維持してください**  
 緊急車両の音や踏切などの音を遮るような過度の音量は、事故を引き起こす可能性があります。また、車内での大音量はあなたの聴力にも支障をきたす可能性があります。

<b>Amplifier</b>	<b>PRO 1 10</b>
<b>動作電圧</b>	<b>10 - 16V</b>
<b>DC-DCコンバータのタイプ</b>	<b>Unregulated - Push Pull</b>
<b>ヒューズ</b>	<b>1 x 80A</b>
<b>Overall efficiency</b>	<b>&gt;75%</b>
<b>ステレオ出力4Ω RMS</b>	<b>525Wx1 (Power mode 670x1)</b>
<b>ステレオ出力2Ω RMS</b>	<b>830Wx1 (Power mode 975x1)</b>
<b>入力感度</b>	<b>0.14~5.9V</b>
<b>Lp クロスオーバー</b>	<b>LP43~200Hz - 24dB/oct</b>
<b>Special features</b>	<b>DDSP - (ダイレクトDSP) プリアンプの回路をすべてバイパスする HL/LL - ハイレベル/ローレベル選択入力 ハイレベル入力でオートセンスパワーオン (BTLソース使用時) パワーモード - 最大20%パワーアップ</b>
<b>ローレベルとハイレベルの入力</b>	<b>RCA</b>
<b>リモコン (別売)</b>	<b>Modular jack</b>
<b>サイズ</b>	<b>235 x 205 x 55mm</b>
<b>重量</b>	<b>2.5Kg</b>

**入力接続**

**例：1ステレオのローレベル入力**

**例：1ステレオハイレベル入力**

**例：1モノ ローレベル入力**

**例：1モノ ハイレベル入力**

**例：1ステレオの処理信号入力**

**RTCの接続**

**SOUND CONTROLL**

**フィルター設定**

**セクション "A" のXオーバー設定**

**パワーモード - OFF (サウンドモード)**

**パワーモード - ON**

最大20%のパワーアップ

**出力接続**

**スピーカー インピーダンス 最低 2 Ω以上**

**スピーカー インピーダンス 4 Ω以上**

**スピーカー インピーダンス 4 Ω以上**



**OWNER'S MANUAL WARNINGS WARRANTY CARD**

**重要** 当マニュアルをよく読み、当製品の規制や機能をよく理解してください。  
 製品の安全な取り付け、使用のため、注意書きに従ってください。

**GLADEN PRO 1|10**


MOSCONIは通知なく改良するための修正や製品の改良を行うことがあります。  
 また記載されている製品の有用性は変わることがあります。  
 このマニュアルに記載されている製品はすべてMOSCONI社製品の一部です。  
 マニュアルに記載されているトレードマークは記述的なものでありすべての権限は各オーナーにより確保されています。  
 当マニュアルのすべて、または一部の複製は禁じられています。

**禁止されています**  
 古い電気製品および電子製品の廃棄に関して (分別廃棄を採用している国に適用)  
 製品やパッケージにマーク(ゴミ箱にXマークが入っているマーク)が書かれている場合  
 家庭ごみとして廃棄することはできません。  
 古い電気製品や電子製品は特別廃棄物処理施設でのリサイクルが必要です。  
 詳細については、地方自治体に連絡し、お近くの廃棄物処理施設をご確認ください。  
 資源保全、また健康や環境を有害な影響から守るため、正しいリサイクル、廃棄を行ってください。  
 この製品は車体より取り外さなければ、車体ごとの廃棄が可能です。

## 入力

### シングル入力を選択

CH1と同じ信号をチャンネルCH2に入れること。  
RCA CH2は、チャンネルCH1のバイパスとして使用することができます。  
注:この機能は、アンプに接続されている入力1つの場合にのみ使用します。

### Hi / Low 選択

すでに増幅されている信号を接続する場合、ソースの取扱説明書を参照してください。  
ソースから発生する信号レベルに合わせて、LEVELポテンショメーターでアンプの入力感度を調整します。ソースの取扱説明書を参照してください。

### 24dB ローパスフィルターを選択

ローパスフィルターが有効  
ローパスフィルタのカットオフ周波数をFREQポテンショメーターで調整します。

### DSP出力を選択

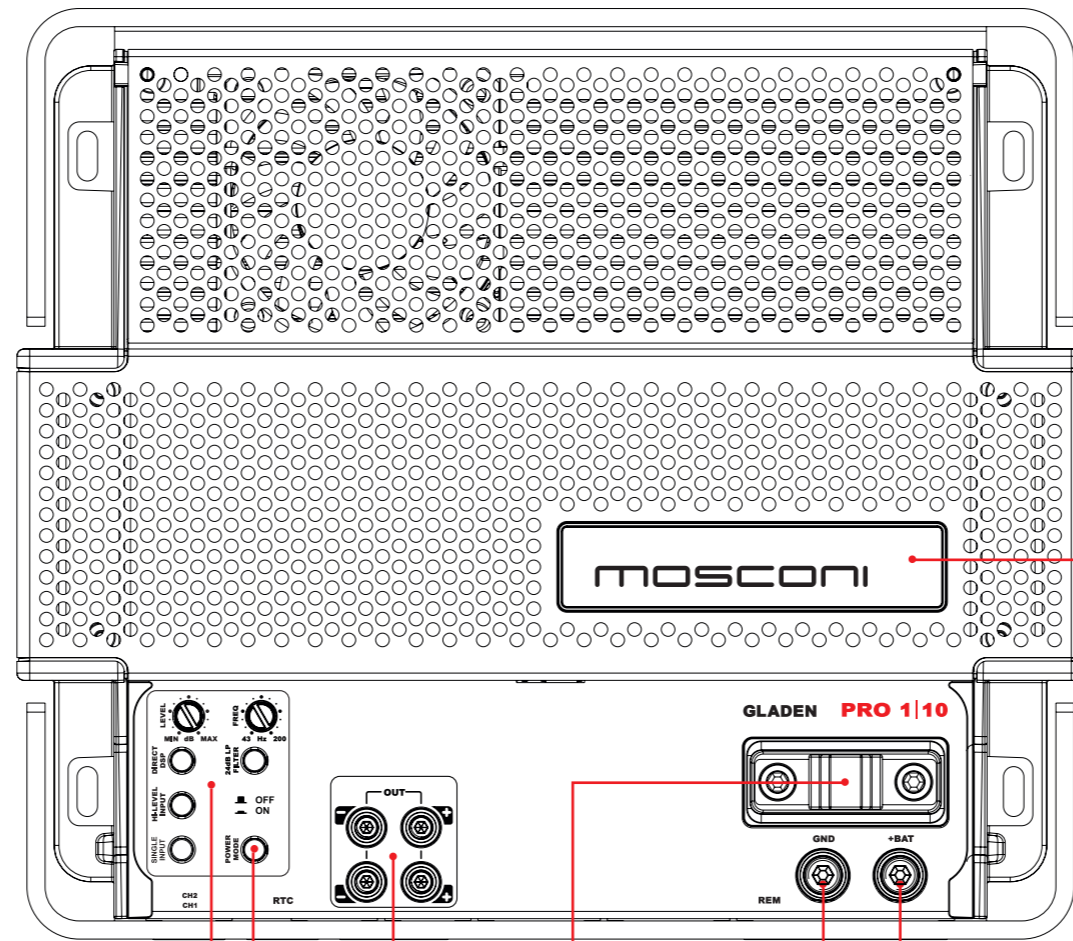
プリアンプ(レベル、フィルター)をバイパス。

## パワーモード

**オフ (サウンドモード)** - 従来品に比べ、より滑らかで甘みのある音になります。

Dクラスアンプでは、特に飽和領域(高いリスニングレベル)付近で、スピーカーに過度なストレスを与えないように、信号を緩やかに丸く整形しています。

**オン** - 最大20%のパワーアップ



## 警告灯

### ALWAYS ON : アンプは動作モード

- 音が出ない場合は:
- ・スピーカーとスピーカーの接続を確認してください。
  - ・ソースとソースの接続を確認してください。
  - ・ソースメーカーが提供する説明書に従って、オーディオ信号を適切に調整してください。

### ミュート時にランプが早く点滅 : アンプが過負荷保護モードになっています

- ・スピーカーのインピーダンスなどを確認してください。

### 4回の点滅と2秒間の消灯 : 電源電圧がしきい値を超えています

- ・バッテリー電圧と電源システム全体をチェックする。

### ゆっくり点滅 : リモートオンの電圧が閾値を超えています

- ・リモートオン信号のソースとリモートオンソケットへの接続の確認

### 1ライトが5秒ごとに点滅 : アンプが故障しています

- ・テクニカルアシスタンスの手順については、正規販売店にお問い合わせください。

### ゆっくり点滅 : アンプが熱保護モードに近づいています

- ・スピーカーの音量を下げるなど、アンプの負荷を下げてください。

### 高速点滅ライト : アンプが熱保護モードになっています

- ・温度が下がるのを待ちます。
- ・スピーカーの音量を下げるなど、アンプの負荷を下げてください。

## 出力 電源

### スピーカー接続

スピーカー線を+端子と-端子に接続

### 電源ヒューズ

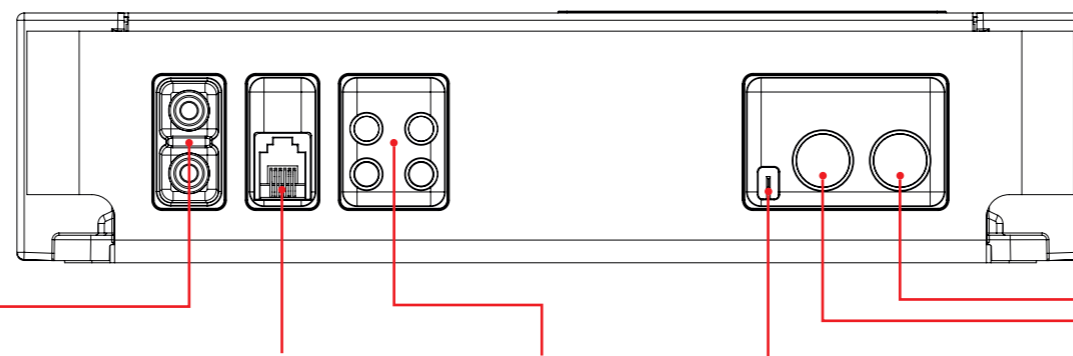
ヒューズを交換する場合は、電源とソース電源を切って、同じ容量のヒューズと交換してください。

### ボディアース

車体のフレーム、またはシャシーの金属部分にケーブルをしっかりと接続してください。  
塗料をはがし、適正な端子を使用し最短の長さのケーブルをご使用ください。

### プラス電源

バッテリーのプラス電源にできるだけ短いケーブルで接続してください。  
なお、バッテリーにできるだけ近い位置に安全の為、外部ヒューズを設けてください。



## CONNECTION

**入力**  
CH1-CH2

**RTCコネクタ**  
RTC(リモートボリュームコントロール)(オプション)をRTC端子に接続し、音量を調節することができます

**出力**

**リモートコントロール**  
ON, OFFリモートS/W端子

**GND +BAT**



**警告**  
12ボルト車にのみ使用のこと。  
作業前にターミナルを外してから作業を行って下さい。  
現在の負荷、ケーブルの長さ合ったパワーケーブルとゲージを使用してください。  
当マニュアルの表は安全使用できる最小ゲージを示しています。  
可能な限り利用可能な最大のゲージを使用してください。

**12V**

		MIN. SECTION (AWG/m <sup>2</sup> )							
<b>CURRENT (A)</b>	<b>0-20</b>	14/2	12/4	12/4	10/6	10/6	8/9	8/9	8/9
	<b>20-35</b>	12/4	10/6	8/9	8/9	6/14	6/14	6/14	4/21
	<b>35-50</b>	10/6	8/9	8/9	6/14	6/14	4/21	4/21	4/21
	<b>50-65</b>	8/9	8/9	6/14	4/21	4/21	4/21	4/21	2/34
	<b>65-85</b>	6/14	6/14	4/21	4/21	2/34	2/34	2/34	0/54
	<b>85-105</b>	6/14	6/14	4/21	2/34	2/34	2/34	2/34	0/54
<b>CURRENT (A)</b>	<b>105-125</b>	4/21	4/21	4/21	2/34	2/34	0/54	0/54	0/54
	<b>125-150</b>	2/34	2/34	2/34	2/34	0/54	0/54	0/54	
		<b>0-1.2</b>	<b>1.2-2.1</b>	<b>2.1-3.1</b>	<b>3.1-4.0</b>	<b>4.0-4.9</b>	<b>4.9-5.8</b>	<b>5.8-6.7</b>	<b>6.7-8.5</b>
		<b>LENGTH (m.)</b>							